

競技も、仕事も、 自分らしく。

ーアスサポあいち参加アスリートのリアルな声ー

競技を続けたい。
将来のことも考えたい。
そのどちらもあきらめない。

アスサポあいちは、競技と仕事の両立を目指す
アスリートを応援します。



競技と将来。その間で揺れるアスリートへ



競技を続けたい。でも、将来のことも考えなければいけない。
そんな葛藤を抱えるアスリートにとって、「デュアルキャリア」はひとつの選択肢です。
今回は、アスサポあいちに参加したアスリートに、
参加前の悩みや参加して学んだこと、そして未来への想いについて伺いました。



INTERVIEW

た か は ら きわむ

高原 究 さん

愛知工業大学/フリースタイルスキー



「僕はやっぱり、
スキーが大好きです！」

ひとつの夢から、広がる未来へ

高原さんは、アスサポあいちに参加する前「スポーツトレーナーになりたい」という強い思いを持っていました。
しかし、さまざまな人との出会いや企業との交流を通じて、その考え方に変化が生まれました。
「人を支える仕事をしたいというのが、根本的な想いなんだと気づきました。」
職種にこだわるのではなく、自分が大切にしたい価値観に目を向けることで、新たな可能性が見えてきたといいます。
「ひとつの職種に絞るのではなく、視野を広げてみることで、新しい選択肢が見つかりました。」
大好きなスキーを続けながら、自分らしい未来を切り拓いていく――。
高原さんは今、競技への挑戦と新たなキャリアの可能性、どちらにも前向きに向き合っています。

将来への不安から始まった挑戦

ソチオリンピックで活躍する選手たちの姿に憧れ、
小学4年生からフリースタイルスキー・モーグルに打ち込んできた、高原究さん。
競技一筋の日々を送る中、転機となったのはケガでした。
「ケガをしたことで、自分の将来について考えるようになりました。
スポーツトレーナーを目指したいと思うようになったのですが、
実際にどのような企業で働くことができるのか分からず、不安もありました。」
そんな時、高原さんの視野を広げてくれたのが、
競技と仕事を両立する“デュアルキャリア”を実現しているアスリートたちの存在でした。

出会いが視野を広げてくれた

アスサポあいちに参加して最初に感じたのは、競技の枠を超えたつながりの大切さでした。
「スキー以外の競技に取り組んでいる方々と話す機会があり、とても新鮮でした。
競技への向き合い方やモチベーションの保ち方などを共有でき、有意義な時間になりました。
中でも印象に残っているのが、パラアスリートとの交流です。
これまで接する機会がなかったので、知らなかった世界を知ることができました。
競技に対する考え方や取り組み姿勢に刺激を受け、自分自身も頑張ろうと思えました。
また、マッチングイベントに参加するにあたり、社会人として必要なマナー
(名刺交換の方法や服装等、基本的なビジネスマナー)を学ぶことができたのはとても良い機会でした。」

「想い」を伝えたことで広がった可能性

マッチングイベントでの企業との対話では、自分の想いを素直に伝えることを意識したといいます。
「競技も続けたいし、仕事にも挑戦したい。その気持ちを正直に伝えました。
すると企業側からは、競技活動との両立を前提とした働き方の提案がありました。
自分の言葉で率直に伝えたからこそ、企業の方も真剣に向き合ってくくださったのだと思います。」
競技を続けながら働くという選択肢が、現実的なものとして見え始めた瞬間でした。



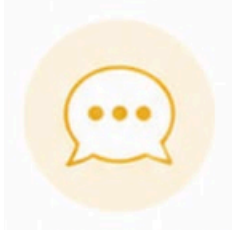
アスサポあいちで広がる未来の可能性

二人のインタビューから共通して見えてきた変化がありました



視野が広がる

これまで知らなかった
働き方やキャリアを
知ることができた。



自分と向き合い 強みが発見できる

キャリア支援講座を通して
自分自身と向き合い
考えを整理できた。



競技と仕事の 両立が実現できる

「競技を続けながら働く」
という未来が
具体的な選択肢になった。

アスサポあいちは...

アスリートが自分らしい未来を描き
その一歩を踏み出すきっかけをつくる場所です

競技も、仕事も、自分らしく。
その思いを形にするために一人ひとりの挑戦を応援します。



＼あなたの未来を、一緒に考えませんか？／



参加申し込み



お問い合わせ